

南区地域公共交通検討会議 会議概要

会議名	令和元年度 第1回南区地域公共交通検討会議	
開催日時	令和元年 11月26日(火) 午前10時00分～午前11時00分	
参加者	委員 (敬称略)	<p><b>出席者 11名</b>                  鞠子幸一・金子周永・塩原隆太郎・吉川功・和泉徹                  吉田翔・松田英憲・桃沢徳明・坂井秋樹・高野英介・家塚剛</p> <p><b>欠席者 1名</b>                  阿部隆一</p>
	事務局	<p><b>南区地域総務課</b>                  課長補佐 1名・担当職員 2名</p> <p><b>新潟市都市交通政策課</b>                  担当職員 1名</p>
内容	<p>1 開会                  2 議事                  (1) 南区生活交通改善プランの改定について……資料1                  (2) 南区生活交通改善プラン(案)について……資料2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>● 事務局                      「これまでの取り組み実績評価と課題」までを一括説明                      資料1及び資料2(P1～P18)</p> </div> <p>～～ 質問や意見 ～～</p> <p><b>委員 ⇒ 資料2・P16、P17</b> これまでの取り組みで、今まで実績が出なかったので廃止する取り組みや、継続する取り組みが新しいプランのどこに繋がっているのかわかるようにしていただきたい。</p> <p><b>事務局 ⇒</b> すべての取り組みが継続となるが、わかりやすいように継続や新規など追記し見やすいようにする。</p> <p><b>委員 ⇒ 資料2・P16</b>に「南区創生会議との協働による」と記載してある。自治協議会へもこの内容を報告すると説明があったが、自治協議会と南区創生会議の役割が分からない。</p> <p><b>事務局 ⇒</b> 南区創生会議は、南区の交通結節点やターミナル化について検討している。将来的に南区の公共交通をよくしようと取り組んでいる。                  それとは別で、今回検討いただいている改善プランについては、創生会議でなく自治協議会第1部会などからも意見などを頂きながら進めていく。</p> <p><b>委員 ⇒</b> 自治協議会は今回の改善プラン策定にかかわらないのか。</p> <p><b>事務局 ⇒</b> 自治協議会第1部会が公共交通について検討している。そこでの意見なども今回のプランに反映させて、自治協議会本会議で報告する予定。</p>	

## 内 容

委員 ⇒ 自治協議会第 1 部会は、「住民の利便性」をポイントとして、区バスを有効利用しようと様々な活動を行っている。

委員 ⇒ 現プラン（27 年策定）の時と、今回の新プラン策定にあたり、新潟市からの区バスの補助率変更など何か変更点はあるのか。

事務局 ⇒ 区バスについて変更はない。住民バスについては、平成 28 年度から地域特性を考慮し地域毎に補助率を見直した。月潟住民バスについては 80%の補助率で運行している。

### ● 事務局

「今後 3 カ年における施策や具体的な取り組みを一括説明」

資料 2（P19～）

### ～～ 質問や意見 ～～

委員 ⇒ 資料 2・P26 3 カ年計画は示してあるが、令和 2 年度の単年度計画はつくりませんか。つくとしたら、誰がつくるのか。

事務局 ⇒ 記載の 3 カ年計画を毎年度取り組んでいくので、単年度計画はつくりません。

委員 ⇒ 単年度計画をつくり、1 年目の結果を含めて見直し、2 年目に繋げるほうがいいと思う。

事務局 ⇒ 計画は 3 カ年で書いてあるが、全て令和 2 年度から取り組むこととしている。また、年に 1 回皆様からお集まりいただき成果内容や取り組みについて評価会議を行う予定。

委員 ⇒ 資料 2・P26 3 カ年計画だが、1 年目はここまでという区切りが必要ではないか。また、自治協議会第 1 部会や南区創生会議などが、どの取り組みを行うのか示したらどうか。

事務局 ⇒ 各取り組みの実施主体や、単年度毎に取り組みが見えるよう資料修正を行う。

委員 ⇒ 資料 2・P26 方針 1 の②「骨格路線の定時性・速達性の向上について」バイパスは出来たが上塩俵交差点から先の大野大橋のところの渋滞は変わらない。4 車線化の話が出ているがその進捗はどうか。

南区建設課 ⇒ 事業主体は国土交通省。今後、事業が進んでいくが工事がいつから始まりいつから 4 車線化となるか未定である。

<p>内 容</p>	<p>3 その他</p> <p>～～ その他意見 ～～</p> <p>委員 ⇒ 「青山での乗り換えが不便」という声がある。直行便を増やすとか、区バスを南区だけで考えるのではなく、西区や区を超えた考えをしないのかと思う。もっと区を横断した動きがあってもいいと思う。そういう意見がこのプランなどに反映されてくることが一番重要。</p> <p>自治協議会第1部会や南区創生会議などの意見をどう集約してプランに反映させるかを明確にした仕組みづくりを今後期待する。</p> <p>委員 ⇒ 「移動手段」は地域で安心して暮らす条件として大事なこと。福祉の要素も加えながらプランの検討をお願いしたい。</p> <p>委員 ⇒ 「シニア半割」の手続きが委任状で行えるようになった。利用者は大変よろこんでいる。</p>
<p>今後の 予定及び 検討課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次回 第2回 南区地域公共交通検討会議</li> <li>● 内容 新・南区生活交通改善プラン（案）について</li> <li>● 時期 令和2年1月中旬 書面開催予定</li> </ul>
<p>会議資料</p>	<p>有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/></p>